

A close-up photograph of several ripe peaches with a reddish-orange hue, resting on a red and white patterned cloth. The peaches are the central focus, with their soft, fuzzy texture clearly visible. The background is slightly blurred, showing more peaches and the patterned cloth.

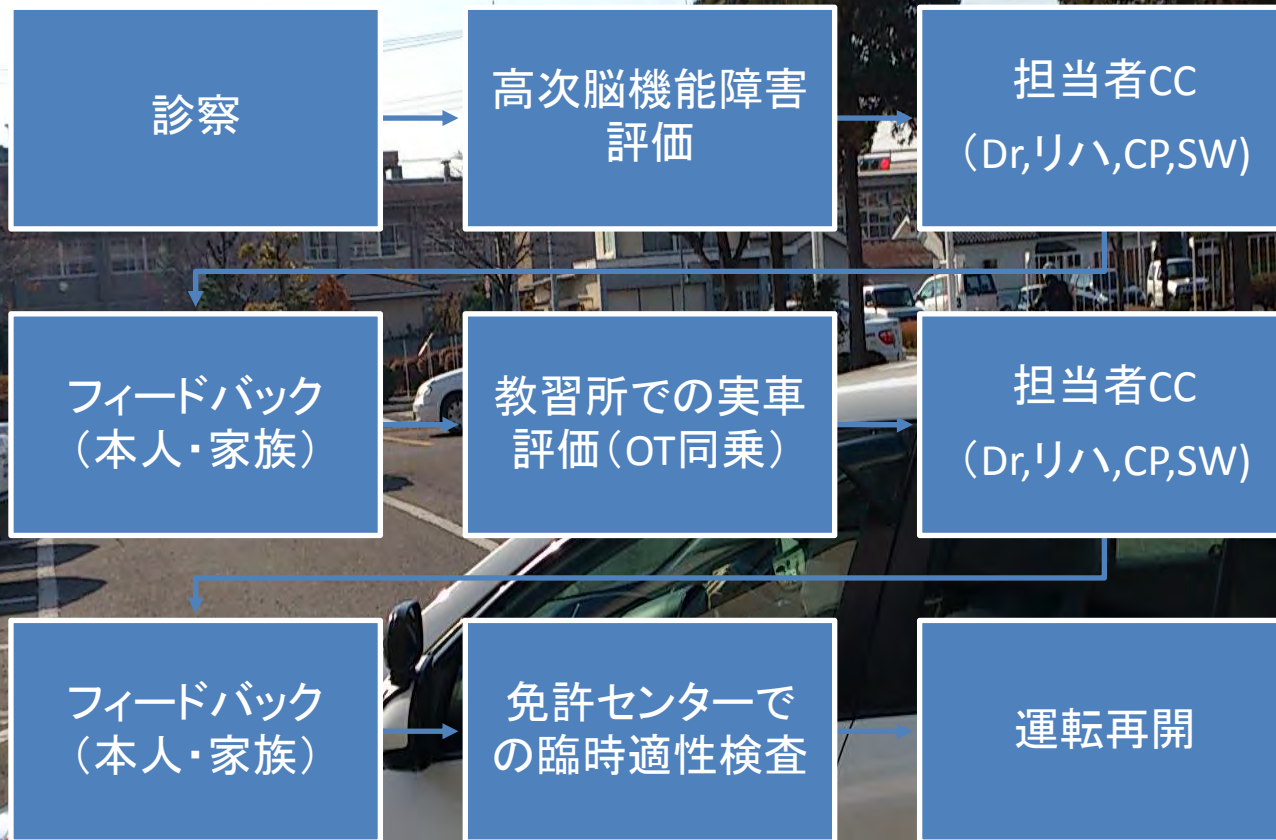
# 移動支援について

# 当事者の移動の現状

- 通院や外出の介助等は、大半を家族が担い、自動車で送迎しているのが現状である（家族の理解や、送迎に費やす時間の確保が必要）。
- 県民の移動手段の主体は自家用車。
- 公共交通手段、市町村独自の取り組みもあるが、路線や運行本数も限られている。

移動手段の獲得に向けた支援が、その後の社会生活を大きく左右する。

# 自動車運転再開に向けて



## 網羅的スクリーニング

- 注意・記憶(TMT CAT WMS-R RBMT 三宅式 Rey図形)
- 知覚・認知(BIT WAIS レーブン)
- 遂行機能(BADS WCST)
- 言語(SLTA)
- 病識(PCRS 健忘チェックリスト)

# 運転技術の再獲得に必要な評価

- 免許の有無、種別、運転歴
- 服薬状況等の確認
- 使用する身体部位、高次脳機能
- 車への乗降能力、車いすや杖の車載能力
- 運転能力
- ハンドル・アクセル・ブレーキ・計器の操作
- 運転補助装置の必要性
- 問題行動の予測、交通法規遵守の可否

適性検査や実際の運転に向けた練習にあたり、自動車関連動作評価を実施する。

# 公共交通機関の利用に向けて

診察

高次脳機能障  
害評価

担当者CC  
(Dr,リハ,CP,SW)

フィードバック  
(本人・家族)

外出手段の  
訓練・評価

担当者CC  
(Dr,リハ,CP,SW)

フィードバック  
(本人・家族)

単独利用

単独外出



# 公共交通機関利用の評価

- 準備行動  
金銭の用意、服装の用意や整容
- 移動動作
- 買物動作
- 適応能力  
方向感覚、状況判断や応用性、疲労や不安の管理  
マナーの心得、他者への援助依頼、トイレの使用等

高次脳機能を総動員する必要がある。

退院後に通院・買物・通学・通勤など外出が必要な場合、対象者に同行して評価・訓練を行い、問題点を抽出し、今後の訓練や介助が必要かを判断する。

# まとめ

- ◆社会参加や自己実現のためには、移動能力を評価・訓練し、代償手段の獲得と環境調整が必要である。
- ◆現状の移動支援サービスには制約が多く、対象者の生活範囲は受障前と比較し狭小化することが多い。地域の交通事情に合わせた支援が必要である。

## 【課題】

# まだまだ必要な啓発活動

- ◆医療機関における移動手段獲得に向けた評価・訓練の必要性の啓発
- ◆自立支援協議会等への移動支援サービスの充実の提案
- ◆関係機関等への協力要請の継続